



ひろさき



弘前城築城400年祭まで

あと261日

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 100

平成22年
(2010)

4月15日号

特 集

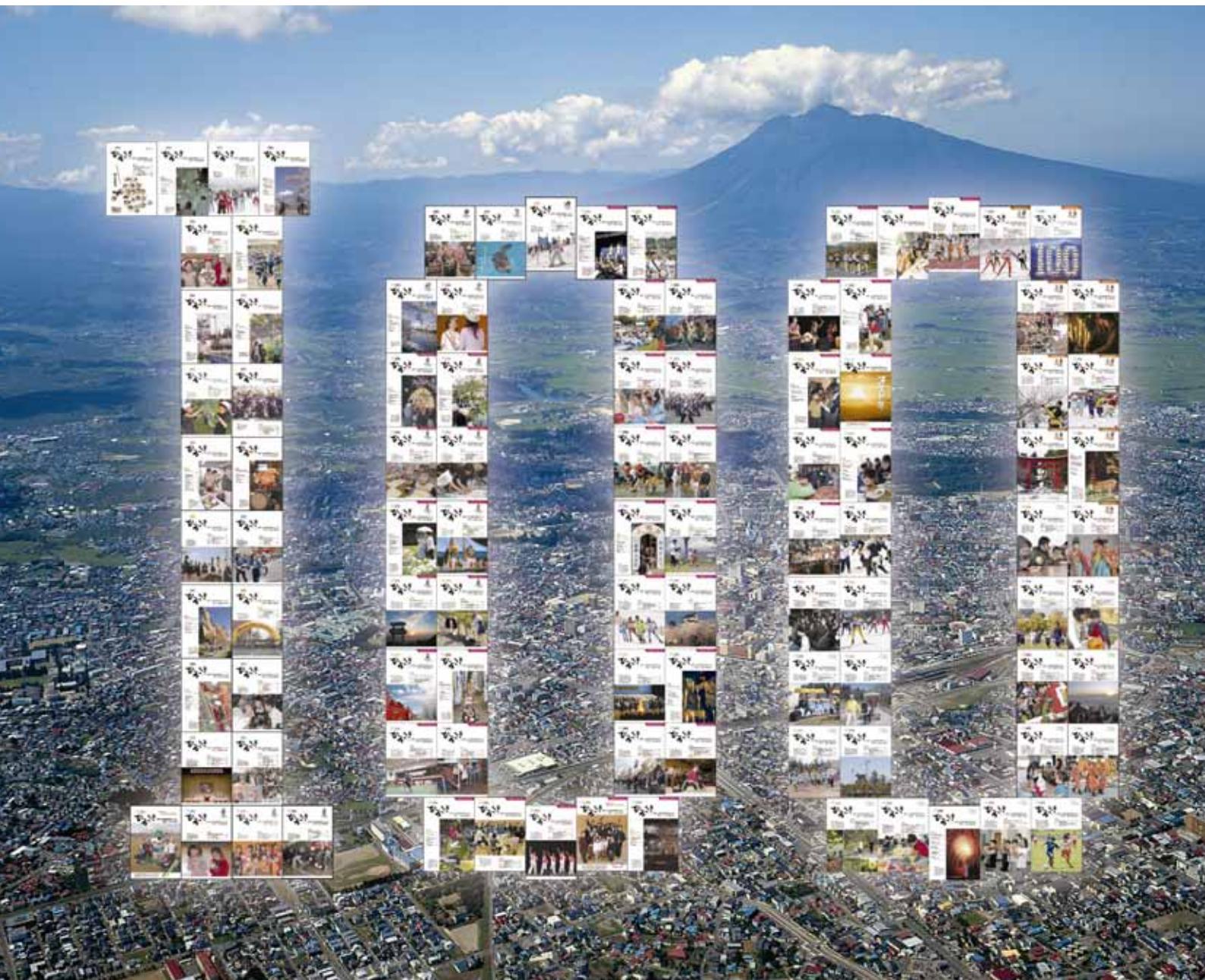
弘前さくらまつり P. 2

●市 政／国保年金課からのお知らせ、 P. 4

平成22年度施政方針と予算、

第2次行政改革大綱を策定 ほか

●お知らせ／催し、教室など P. 16



■おかげさまで100号達成！

弘前市、岩木町、相馬村が合併し「新弘前市」が誕生してからはや4年。合併後の「広報ひろさき」も今号で100号の節目を迎えました。これまで本紙の作成や配布などにご協力いただいた関係者の皆さん、そしていつも読んでくださる市民の皆さんに心より感謝いたします。今後も市民の皆さんのが親しみやすく、読みやすい広報紙の作成に取り組んでいきますので、これからも「広報ひろさき」もよろしくお願いします。

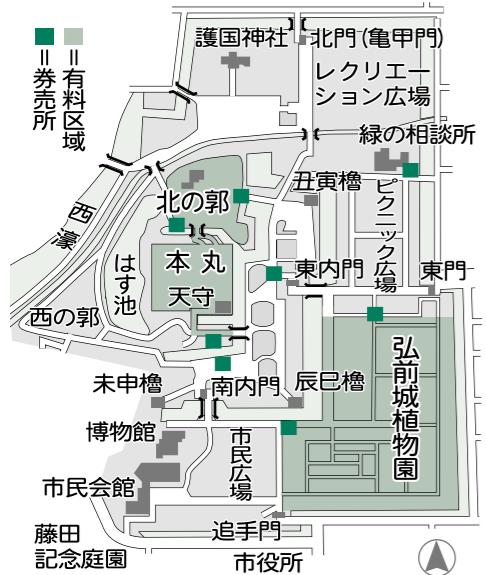


さくらまつり期間中は、違法駐車車両の排除や交通渋滞の防止、無理な横断者の交通事故防止を図るため、東門から亀甲町交差点にかけてカラーポールを140本設置しています。

これについて、「美観を損なう」「自転車走行の妨げになつていい」などの理由から撤去要望がありますが、県内外から訪れる観光客の安全・安心を第一に、道路における危険防止と円滑な交通の流れを確保するためには必要な措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。

▽問い合わせ先
交通第一課 (☎ 32-0111)

弘前公園有料区域

弘前城(本丸・北の郭)入園料
4月23日～5月5日

午前7時～	大人(高校生以上)	300円(240円)
午後9時	子供(小・中学生)	100円(80円)
弘前城史料館(天守)への入館料を含む。		
※午後9時以降は無料(史料館は午後9時で閉館)。		
◆問い合わせ先 公園緑地課(☎ 33-8739)		

弘前城植物園・藤田記念庭園入園料

午前9時～	大人(高校生以上)	300円(240円)
午後6時	子供(小・中学生)	100円(80円)
入園券の発売は午後5時半までで、植物園・記念庭園それぞれで入園料が必要です。		
休園日…なし		
※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障害者、外国人留学生は無料。年齢や住所、身分を証明できるもの提示を。		

◆問い合わせ先 植物園(☎ 33-8733)
記念庭園(☎ 37-5525)

お得なセット(弘前城と植物園)入園料

午前9時～	大人(高校生以上)	500円(450円)
午後6時	子供(小・中学生)	160円(130円)
◆問い合わせ先 公園緑地課(☎ 33-8739)		

※料金の()内は10人以上の団体料金。

◎弘前公園内では火気の使用はできません。
◎ごみの削減・持ち帰りにご協力ください。
◎弘前公園までは公共交通機関をご利用ください。

ご協力を

カラー コーンの設置に
ご理解・ご協力を

さくらまつり期間中は、違法駐車車両の排除や交通渋滞の防止、無理な横断者の交通事故防止を図るため、東門から亀甲町交差点にかけてカラーポールを140本設置しています。

観光ボランティア

弘前観光ボランティアガイドの皆さんのが案内します。追手門と東門付近に詰め所がありますので、気軽にご利用を。

▽案内時間 まつり期間中の午前9時～午後5時(受付は午後4時まで)

▽事前予約は受け付けていません。

▽活動日時 まつり期間中の午前9時～午後4時

▽活動場所 弘前公園内

▽運行時間 (計6日間)

○上下水道部発 午前11時以降30分おき～最終は午後5時

○堀越雪置き場発 午前10時以降30分おき～最終は午後3時

▽活動日時 まつり期間中の午前9時～午後4時

▽活動場所 弘前公園内

▽運行時間 (計6日間)

○上下水道部発 午前11時以降30分おき～最終は午後5時

○堀越雪置き場発 午前10時以降30分おき～最終は午後3時

シャトルバスを運行

堀越雪置き場を臨時駐車場

▽臨時駐車場利用料 無料

▽シャトルバス乗車料 無料

▽問い合わせ先 觀光物産課

▽問い合わせ先 市立観光館(追手門広場内、☎ 37-5501)

▽開花状況やまつり期間中の催しなど、まつりに関する問い合わせ先 市立観光館(追手門広場内、☎ 37-5501)

▽運行日 4月24日・25日・29日、5月1日・2日・3日

期間中の臨時駐車場

○臨時バスターミナル

○文化センター

○青銀記念館

○至田茂木町

○北門(亀甲門)

○富士見橋

○岩木川

○岩木橋

○藤田記念庭園

○市役所

○市民体育館

○追手門

平成 22 年度

施政方針と 予算

安心して暮らせるように
市民の皆さんに健康で
市町村合併により新弘前市
が誕生して 5 年目を迎えました。これまでの市政運営において大きな混乱もなく、おおむね順調に推移してきたものと思っています。私は、市町村合併後の初代弘前市長として就任以来、これまで公約実現に向け、また、市民の皆様と一緒に策定しました「弘前市総合計画」に基づき、各種施策に誠心誠意取り組んできました。市長としての職責を果たしてこられたのも、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げる次第であります。私の基本理念は、市民参加

型の市政運営を心掛けること
であります。市民と行政の適切な役割分担のもと、これまで以上に協働しながら、効率的かつ工夫を凝らし、効率的かつ効果的な行政運営に努めていかなければなりません。市民と行政とが情報を共有し、共通の目的意識を持つて課題解決に当たることが大切であります。市議会定例会で「施政方針」と、市議会定例会で「市町村合併により新弘前市」が誕生して 5 年目を迎えました。これまでの市政運営において大きな混乱もなく、おおむね順調に推移してきたものと思っています。私は、市町村合併後の初代弘前市長として就任以来、これまで公約実現に向け、また、市民の皆様と一緒に策定しました「弘前市総合計画」に基づき、各種施策に誠心誠意取り組んできました。市長としての職責を果たしてこられたのも、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げる次第であります。私の基本理念は、市民参加

平成 22 年第 1 回市議会定例会の初日（3 月 2 日）、相馬市長は、弘前市が今後 1 年間目指していく方向を示した「施政方針」について、「市民と行政がこれまで以上に協働しながら、効率的かつ効果的な行政運営に努めてまいります」という決意とともに演説を行いました。今回は、この「施政方針」について、「市民と行政がこれまで以上に協働しながら、効率的かつ効果的な行政運営に努めてまいります」という決意とともに演説を行いました。議決された各会計予算や主な事業を紹介します。

国保年金課からのお知らせ

国民健康保険料の軽減制度の創設

倒産・解雇などによる離職、 雇い止めなどによる離職した人へ

4 月から、非自発的な理由により失業した人の国民健康保険料を軽減する制度が始まりました。

申請は随時受け付けています。該当する人は国保年金課へ申請してください。

▽対象 雇用保険の特定受給資格者および特定理由離職者（※）で、平成 21 年 3 月 31 日以降に離職した人（離職日において 65 歳以上の人を除く）

（※）雇用保険受給資格者証に記載されている離職理由コードが 11、12、21～23、31～34 の人です。

▽軽減期間 ①平成 21 年 3 月 31 日～平成 22 年 3 月 30 日に離職した人…平成 22 年度 ②平成 22 年 3 月 31 日以降に離職した人…離職日の翌日の属する月から翌年度末まで

〈例〉平成 22 年 3 月 31 日に離職した場合は平成 22 年度および 23 年度

ただし、勤務先で健康保険に加入するなど国民健康保険を脱退すると終了します。

▽軽減内容 国民健康保険料は、前年の所得などにより算定されます。軽減は非自発的失業者の前年の給与所得を 100 分の 30 とみなして行います。

軽減内容は個々により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

▽申請に必要なもの ①雇用保険受給資格者証（コピー可）②印鑑 ③国民健康保険証（既に交付されている場合）

※申請日によって、軽減内容が反映される時期が遅れる場合もあります。あらかじめご了承ください。

▽問い合わせ・申請先 国保年金課国保保険料係（市役所 1 階、窓口 158、☎ 40・7045）

国保給付制度の改正

4 月から国保給付制度が次のとおり変更になります。

■非自発的失業者の負担区分

非自発的失業者（上記「国民健康保険料の軽減制度の創設」対象と同じ）の高額療養費などの自己負担限度額の区分は、前年（1 月～6 月に離職した人は前々年）の給与所得を 100 分の 30 とみなして計算します。

非自発的失業者を含む世帯で国保被保険者（擬制世帯主、特定同一世帯所属者（※）含む）全員の所得の合計額が、【33 万円 + （国保被保険者数 + 特定同一世帯所属者数）× 35 万円】を下回る場合は、低所得者として取り扱いします。また、上位所得者の所得判定の際にも、非自発的失業者の前年（1 月～6 月に離職した人は前々年）の給与所得は 100 分の 30 とみなして計算します。

（※）特定同一世帯所属者とは、75 歳以上の長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の対象者で、後期高齢者医療制度の加入前に、国民健康保険に加入して

いて、後期高齢者医療制度に加入後も同じ世帯に所属している人のことです。

■高額療養費の計算方法変更

平成 22 年 3 月診療分までは、旧総合病院（弘前大学附属病院、国立弘前病院、市立病院など）で外来の治療を受けた場合の診療報酬明細書（レセプト）は、診療科ごとに作成されていましたが、4 月からは、

1 医療機関ごとに 1 枚の作成となりました。

これに伴い、70 歳未満の人の高額療養費の計算が、診療科ごとではなく、1 医療機関（歯科は除く）ごとに支払った金額が月額 2 万 1,000 円を超えた場合、高額療養費の計算対象となります。

高額療養費支給申請において際は、1 医療機関で違う診療科（歯科は除く）であっても、領収証を持参してください。計算方法が分からぬ場合は、領収証を持参の上、国保年金課窓口へご相談ください。

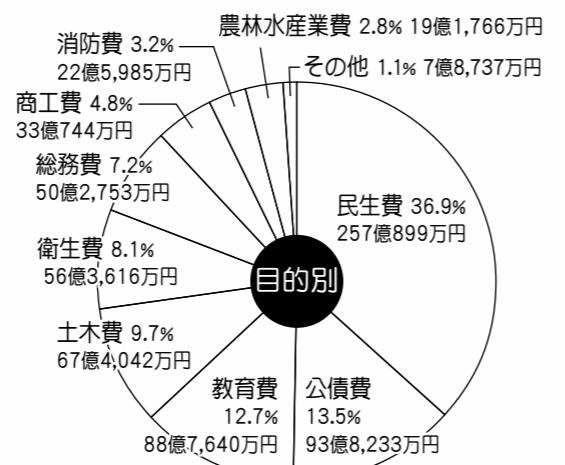
▽問い合わせ先 国保年金課国保給付係（市役所 1 階、窓口 157、☎ 40・7047）

【目的別歳出の種類】

- 民 生 費…子どもやお年寄り、障害者への福祉などに要する経費
- 教 育 費…小・中学校の教育施設や文化の向上などに要する経費
- 公 債 費…借入金の返済に要する経費
- 土 木 費…道路や公園、区画整理やまちづくりに要する経費
- 衛 生 費…健康診断や予防接種、ごみの回収処理などに要する経費
- 総 務 費…庁舎の管理、戸籍、統計、徴税、選挙など市役所を運営するための全般的な経費
- 商 工 費…商業や工業、観光の振興、公園の維持などに要する経費
- 消 防 費…消防や救急、防災などに要する経費
- 農林水産業費…農産物の生産性向上や農村の整備などに要する経費
- そ の 他…議会費、労働費など

一般会計歳出

696億4,415万2千円



特別会計

会計別	予算額
国民健康保険	226億7,716万円
後期高齢者医療	15億2,910万円
老人保健	1,526万円
介護保険	143億5,785万円
岩木観光施設事業	1億596万円

財政メモ

平成21年度末の弘前市の
借金に当たる市債残高見込は

1,636億9,939万円で

市民1人当たりでは = 88万8千円
対前年度比 ▲1万3千円
1世帯当たりでは = 215万7千円
対前年度比 ▲5万7千円
となっています。

※図表の金額は1万円未満を四捨五入しているため、合計額が合わない項目があります。

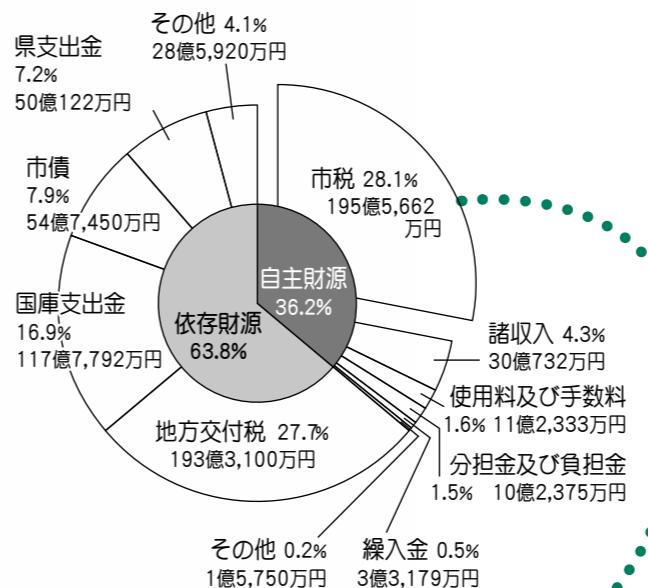
図表で見る

平成22年度予算

一般会計は 696億4,415万2千円

一般会計歳入

696億4,415万2千円



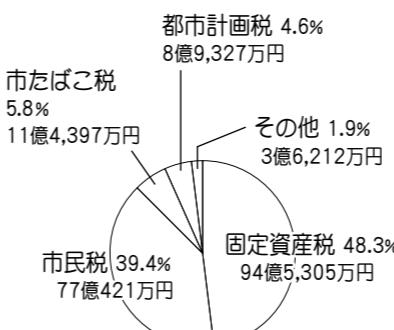
と、20%（13億945万円）の増となりました。

22年度一般会計の各会計の予算が議決されました。

22年度一般会計の予算規模は、21年度と比較する

▼総務財政課財政係（☎35-1110）

市税内訳



市税総額 195億5,662万円

市民1人当たりの負担額 = 10万6千円
対前年度比 ▲2千円
1世帯当たりの負担額 = 25万8千円
対前年度比 ▲7千円

【歳入の種類】

- 市 税…市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
- 諸 収 入…給食費など、収入のどの区分にも属さないお金
- 使 用 料 及 び 手 数 料…市の施設などの使用料や住民票などの手数料
- 分 担 金 及 び 負 担 金…特定の事業の経費に充てるため、その事業の受益者からのお金
- 繰 入 金…基金から一般会計に組み入れるお金
- 地 方 交 付 税…市の財政状況に応じて国税の一部から交付されるお金
- 国 庫 支 出 金…特定の事業の経費に充てるため、国から支出されるお金
- 市 債…財務省や金融機関からの借入金
- 県 支 出 金…特定の事業の経費に充てるため、県から支出されるお金
- そ の 他…自主財源では財産収入や繰越金、寄附金、依存財源では地方譲与税、地方消費税交付金など

▲市民1人当たり・1世帯当たりの負担額は、単純に市税総額と人口・世帯数（平成22年2月28日現在）から算出したものです。

弘前市総合計画に掲げる目標「自然と共に生きる豊かな産業・文化都市」の実現のため取り組む重点施策事業

子育て環境の整備

一時預かり事業費補助金	2,294 万円
… 家庭での保育が一時的に困難なときの一時預かりの経費を助成	
延長保育促進事業費補助金	2 億 4,682 万 6 千円
… 保育所開所時間前後の延長保育実施経費を助成	
休日保育事業費補助金	1,905 万円
… 休日などの保育が困難なときの保育経費を助成	
病児病後児保育事業委託料	2 億 500 万円
… 発病時や回復期の児童の一時保育を実施	
保育所運営費	42 億 7,545 万円
… 公費負担により保育料軽減	
私立保育所整備事業費補助金	1 億 9,391 万 4 千円
(仮称) 北児童センター建設事業	1 億 2,190 万 8 千円
子ども手当給付事業	21 億 1,737 万 8 千円
児童手当給付事業	11 億 3,741 万 7 千円
児童扶養手当費	11 億 932 万 5 千円

保健・医療の充実

市民健康まつり	315 万 6 千円
健康教育事業	305 万 9 千円
… 喫煙対策、自殺対策などの健康教育	
訪問指導事業	211 万 4 千円
… 生活習慣病者などへの訪問指導	
妊婦・乳児健康診査事業	1 億 2,082 万 3 千円
予防接種事業	1 億 7,398 万 3 千円
健康診査事業委託料	2 億 3,861 万 8 千円
(仮称) 弘前大学医学部附属	6,774 万 5 千円
高度救命救急センター運営費補助金	
急救診療所運営費	7,292 万 4 千円
病院群輪番制病院運営費委託料	7,292 万 4 千円
… 夜間などの二次救急患者への輪番制診療を市内 5 病院に委託	
小児救急輪番制病院運営費補助金	4,409 万 4 千円
… 夜間などの小児二次救急輪番制病院の市内 2 病院に補助	
総合健康管理システム導入事業	1 億 4,359 万円
… 健診結果による保健指導情報や予防接種情報を総合的に管理	



平成 22 年度 主要事業と予算

平成 22 年度に、どんな事業にどれくらいの予算を使うのか、その一部を紹介します。

農林業の振興

果樹共済加入促進対策事業費補助金	5,270 万 4 千円
… 果樹共済加入に要する掛金の一部を助成	
りんご剪定枝堆肥化推進事業費補助金	100 万円
… セン定枝の堆肥化促進のため粉碎機導入に助成	
農産物・加工品販売パッケージ等	100 万円
製作支援事業費補助金	
米粉生産消費拡大事業費補助金	458 万 9 千円
… 米粉製造機導入に助成、一部学校給食へ米粉パン普及拡大など	
野菜・花き産地育成事業費補助金	1,256 万 8 千円
… 野菜栽培用パイプハウス整備などに助成	
おいしい果物産地振興事業費補助金	278 万 4 千円
… 特産果樹の苗木購入や施設整備に助成	
高品質米生産推進事業費補助金	400 万円
… 減農薬米生産のための正種子購入費に助成	
りんご匠の技継承隊養成事業委託料	151 万 2 千円
… セン定などの高度な技術を後世に伝える生産技術指導リーダーを養成	
転作田利用集積支援事業費補助金	636 万円
… 転作田の利用集積に助成	
生産振興総合対策事業費補助金	5 億 3,757 万 5 千円
… 米の乾燥調整施設、たい肥施設の整備に助成	
目ざせわら焼きシャットアウト事業	297 万円
… 稲わら収集機導入に助成、稻わら鋤(すき)込み展示圃(ほ)の管理委託など	
農道等整備事業費補助金	3,000 万円
森林整備地域活動支援交付金	476 万 6 千円



▲当市の基幹産業であり、日本一の生産量を誇るりんごをはじめとする農業の振興には特に力を入れていきます。

観光・物産の振興

ねぶたシンポジウム	50 万円
四大まつり	1 億 1,979 万 7 千円
… さくらまつり、ねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり	
The 津軽三味線 2010 事業費補助金	350 万円
全日本リンゴ追分コンクール事業	150 万円
費補助金	
津軽ひろさき冬の旅実行委員会負担金	100 万円
観光ボランティアガイド養成事業	98 万 4 千円
津軽の食と産業まつり負担金	500 万円
弘前の物産と観光展事業費補助金	400 万円



そのほかの施策事業

義務教育施設耐震化工事	9 億 912 万 5 千円
津軽歴史文化資料展示施設整備	200 万円
基礎調査委託料	
… 高照神社所蔵文化財等の展示施設整備基礎調査を委託	
弘前市陸上競技場整備事業	1 億円
交通安全施設整備事業	1,800 万円
… 清野袋岩賀線、富田樹木線	
弘前駅前北地区土地整理事業	11 億 2,011 万 1 千円
中心市街地活性化広場公園整備事業	9,800 万円
… 弘前駅城東口緑地、藤田記念庭園	
町会集会所設置事業等補助金	1,188 万円
住民税等電子化システム導入事業	990 万 3 千円
(仮称) 相馬地区住民ふれあいセンター建設事業	8,204 万 6 千円

※このほか、国の補正予算による交付金を活用し、平成 21 年度予算を繰越し、平成 22 年度に実施する事業として、道路維持事業、排水路改良事業、市営住宅改修事業などを実施します。

市民生活の現状や市を取り巻く環境の変化に適切に対処するための重点領域事業

地域経済・雇用環境に配慮した対策

緊急離職者対策雇用奨励金	840 万円
新規高等学校卒業者雇用奨励金	90 万円
緊急地域雇用創出対策事業	2 億 1,505 万 7 千円
… 緊急雇用創出事業	
(市道整備関連遺跡発掘調査事業など)	
… 新規雇用 119 人	
… ふるさと雇用再生特別基金事業	
(新規就農者育成、確保対策事業など)	
… 新規雇用 32 人	
… 重点分野雇用創造事業	
(弘前城築城 400 年祭情報発信事業など)	
… 新規雇用 8 人	
農業経営支援対策資金保証料及び利子補給補助金	551 万円
中小企業経営安定資金保証料補助金	7,004 万 4 千円
… 信用保証料 1 / 2 助成から全額助成に拡充	

市民が生涯を通じて健康でいきいきと生活できる社会の実現を目指す対策

介護予防普及啓発事業	540 万円
… おたっしゃ健幸塾、介護予防相談会、地区健康教育など	
地域福祉推進事業費補助金	228 万円
… 在宅患者訪問歯科診療事業費補助金、健康・生きがいづくり推進事業費補助金	

東北新幹線新青森駅開業に向けた活動

新幹線開業対策事業	4,796 万 9 千円
… 観光キャンペーン	
(新幹線 PR 用パンフレット・ポスター作成、新幹線開業イベント経費、まちなか散策推進事業負担金、観光資源ライトアップ推進事業、(仮称) 東京ねぶた実行委員会負担金、弘前りんごで持てなし支援事業費補助金など)	
グリーン・ツーリズム推進事業	66 万円
… 実践団体の活動 PR 経費および旅館業許可申請経費を助成	

弘前城築城 400 年祭に関連した取り組み

弘前城築城 400 年祭実行委員会負担金	4,200 万円
… オープニングイベントなど	
弘前公園ライトアップ整備事業	3,150 万円
弘前城雪燈籠まつり津軽錦絵大回廊事業	200 万円
弘前藩よろずツアーセンター事業費補助金	30 万円
博物館・企画展「津軽に眠る名宝展」	173 万 3 千円
関連事業	
鷹揚公園整備事業	1 億 2,400 万円
仲町伝統的建造物群保存地区武家住宅復元事業	2,612 万 5 千円

業務の予定量

排水処理件数	64,636 件
年間総処理水量	21,838,000 m ³
一日平均処理水量	60,000 m ³

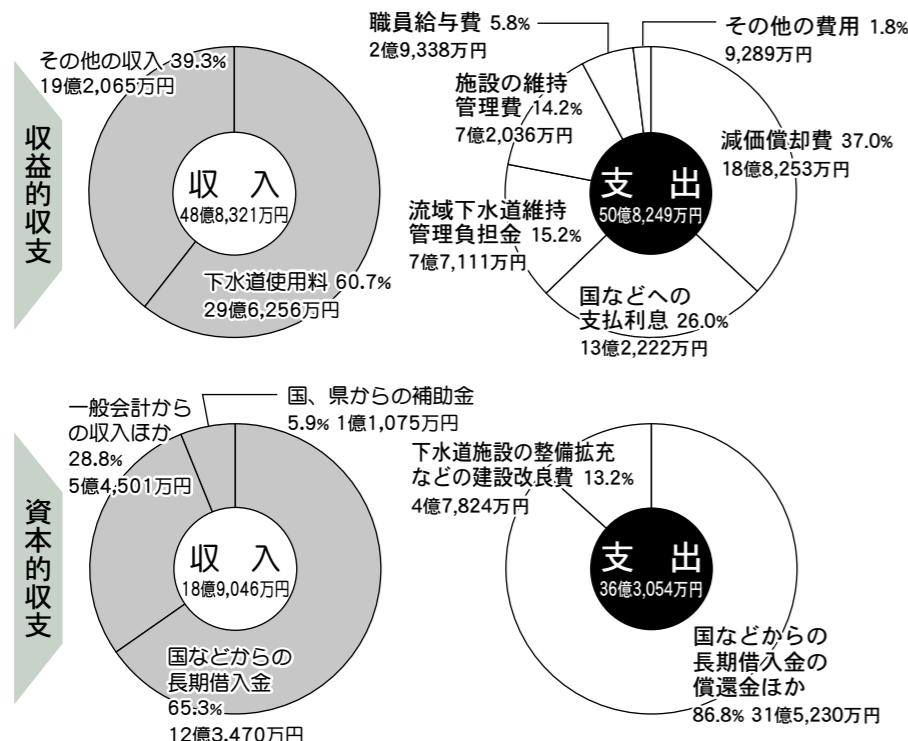
※一日平均処理水量は1,000 m³以下を四捨五入により算出しています。

平成 22 年度

下水道事業

平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、上下水道部（☎ 36・8100）へお問い合わせください。

平成 22 年度当初予算



主な建設改良事業計画

公共下水道事業建設費	2 億 7,408 万円
下水道管布設（4地区）	
農業集落排水事業建設費	9,974 万円
裾野新和北地区下水道管布設	
流域下水道建設負担金	9,150 万円



処理場の見学もできます

業務の予定量

区分	給水戸数	年間総配水量	一日平均配水量
上水道	72,236 戸	18,902,162 m ³	51,787 m ³
簡易水道	2,410 戸	943,319 m ³	2,584 m ³
合計	74,646 戸	19,845,481 m ³	54,371 m ³

※一日平均配水量は小数点以下を四捨五入により算出しています。

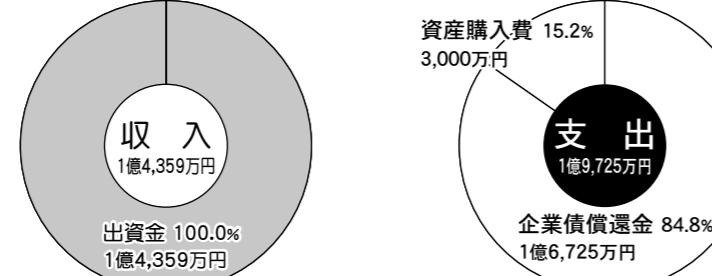
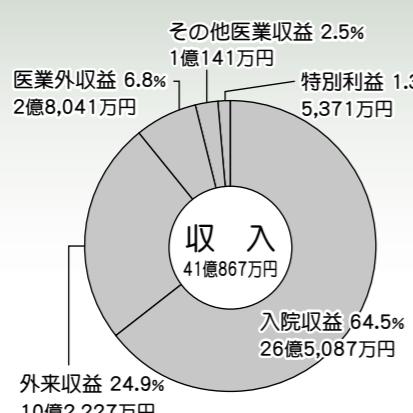
平成 22 年度

水道事業

平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、上下水道部（☎ 36・8100）へお問い合わせください。

主な建設改良事業計画

上水道施設整備事業	1 億 7,505 万円
配水管布設・布設延長（5地区）等	
総延長 1,585m	
上水道第4期拡張事業	2,913 万円
配水管布設延長（1地区）	
総延長 250m	
上水道老朽管更新事業	4 億 3,170 万円
石綿セメント管布設替延長（17地区）	
総延長 4,025m	
上水道水源開発事業	
津軽ダム建設負担金	9,284 万円
簡易水道施設整備事業	4,256 万円



平成 22 年度当初予算

診療科目	内科	小児科	外科
	整形外科	産婦人科	眼科
	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科	麻酔科

業務内容
看護基準 7 対 1 看護
一般病床数 250 床

平成 22 年度の主な事業

医療機器及び備品購入	3,000 万円
自動体外式除細動器など	16 品目 23 点



平成 22 年度

病院事業

平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、市立病院（☎ 36・8100・3211）へお問い合わせください。

第2次行政改革大綱

策定しました

前基本計画の終了年度に合わせ、平成22年～23年度（2年間）としました。取組項目について、改プランから継続する59項目に新規の31項目を加えた合計90項目を実施します。

主な取り組み

新弘前市が行政改革の基本方針とした「弘前市行政改革大綱」の計画期間は3月末に終了しましたが、引き続き厳しい財政状況が続くことを踏まえ、行政改革を継続し、市民サービスの向上を図りつつ、行政コストの削減を進めることが必要であるとの考え方から、「弘前市行政改革大綱」を継承した「第2次弘前市行政改革大綱」を策定しました。今号ではその概要を紹介します。

■問い合わせ先 人事課事務管理担当（☎ 35・1170）

これまでの取り組み

平成18年2月27日の市町村合併後、新しい弘前市が合併効果を十分に発揮するため、平成19年12月に行政改革大綱（計画期間：平成19年～21年度）を策定し、行政改革を推進してきました。この成果（見込み）として、実施計画「集中改革プラン」の達成見込みが87・9%、職員削減数は当初計画の26人を上回る67人（見込み）となっています。これら行政改革の

実施による財政効果額は、約30億円と見込まれています。

実施計画

実施計画の基本構想期間は、総合計画の終了年度に合わせ、平成22年（27年度）（6年間）としました。大綱の実施計画として、前期実施計画を策定しました。その取組期間は、総合計画の

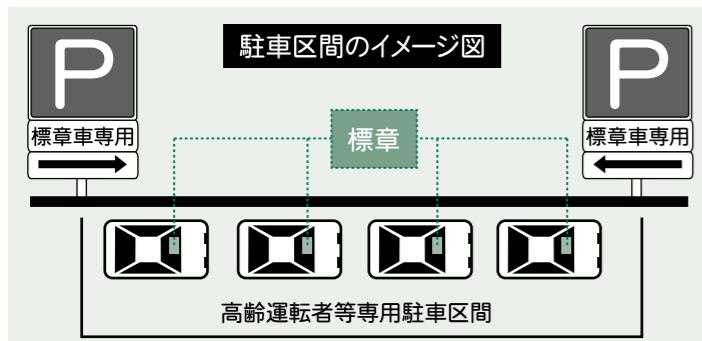
○業務の民間委託化
○新設する施設への指定管理者導入の推進
○市民サービスのさらなる向上を図るため、指定管理者が管理している施設で利用者アンケートを実施
○岩木山百沢スキー場の経営改善
○市が設置する4スキー場全体の在り方について再構築
○公共施設の施設設置の見直しおよび統合・廃止
○非常勤の行政委員の月額報酬の見直しの検討
○市民と行政との協働によるまちづくりを推進するための指針の策定の検討
○職員数削減目標：21人
○経費削減などの財政効果：16億6300万円
■大綱および実施計画は市のホームページのほか、市役所1階ロビー・3階情報公開コーナーで閲覧できます。

この計画は、国の「防災基本計画」、県の「青森県地域防災計画」と連携した地域計画として位置付けし、本市の地域における災害予防、災害応急対策、災害復旧対策に関する必要な事項について規定しています。平成19年2月の計画作成後、国の「防災基本計画」や「青森県地域防災計画」が修正されたことから、これらの計画に基づいた修正を行ったとともに、企業防災の促進や被災動物対策について追加しました。また、災害時要援護者などの各種ガイドラインの策定や、洪水予報などの発令基準の改正、水防法などの関係法令の改正などが行われたことから所要事項について修正を行いました。なお、弘前市地域防災計画は市ホームページへ掲載しています。

■問い合わせ先 企画課企画担当（☎ 35・1123）

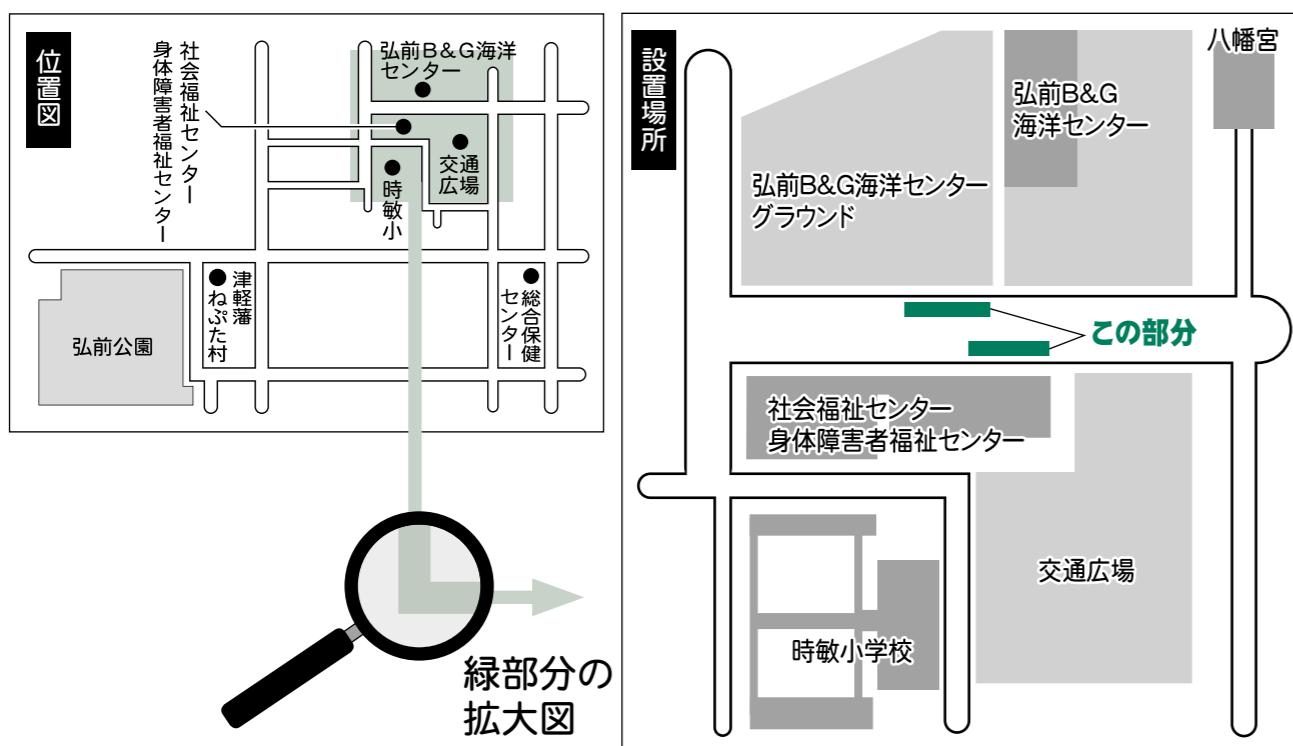
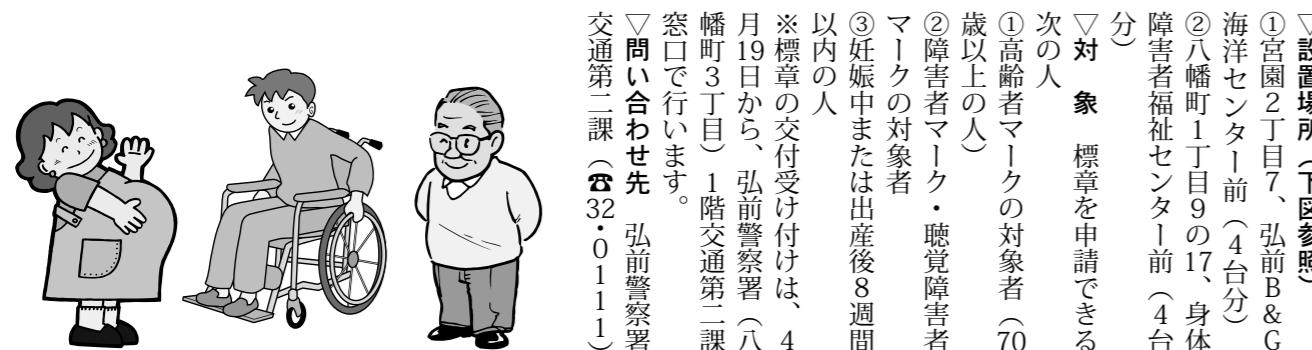
「弘前市地域防災計画」は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第42条の規定に基づき、平成19年2月に弘前市防災会議が作成した計画です。

高齢運転者等専用駐車区間制度の実施



4月19日から開始

高齢運転者などの交通事故防止の一環として、道路交通法の一部が改正され、4月19日から、道路上に高齢運転者や身体の不自由な人、妊娠している人などを対象とした専用駐車区間が設置されることになりました。



No.	講座名	主な内容	担当課等
1	弘前市総合計画	弘前市総合計画の内容について	企画課
2	行政評価システムについて	行財政総合管理システムによる総合計画の進行管理などの取り組みについて	企画課
3	雪への取り組み	弘前市の雪対策について	企画課
4	地域防災対策	地域や家庭で行う災害への備えと防災活動について	企画課
5	弘前市国民保護計画	弘前市国民保護計画の内容について	企画課
6	男女共同参画社会	男女共同参画社会実現に向けての取り組み	企画課
7	みんなで考えよう！くらしの中の公共交通	路線バスをはじめとする公共交通の現状と活性化について	企画課
8	弘前市地域新エネルギービジョン	弘前市地域新エネルギービジョンの内容について	企画課
9	弘前市の財政	市の予算編成 財政の現状	総務財政課
10	情報公開制度のしくみ	情報公開制度の利用方法について	総務財政課
11	弘前市の個人情報保護のしくみ	制度の内容について	総務財政課
12	弘前市の地域情報化	ICTを活用した取り組み・地域情報化計画	情報政策課
13	弘前市の行政改革	行政改革の取り組みについて	人事課
14	弘前市の行政組織	市の組織・事務について	人事課
15	指定管理者制度	指定管理者制度について	人事課
16	税金のしくみⅠ	市民税・県民税の計算方法 申告書の書き方	市民税課
17	税金のしくみⅡ	土地や家屋の税金の決め方	資産税課
18	市税の収入	市民税、固定資産税の収入実績など	収納課
19	高齢者等の交通安全	高齢者等が交通事故に遭わない、起こさないためのポイント	市民生活課（安全安心対策担当）
20	わかりやすい戸籍の届出	戸籍のしくみ 各種届出の書き方	市民課
21	分別ごみとリサイクル	ごみ収集の現状 分別ごみのゆくえ、ダンボールコンポストの活用など	環境保全課
22	地球温暖化とくらし	地球温暖化による問題とわたしたちにできること	環境保全課
23	クイズで楽しくエコライフ！	地球温暖化について、クイズで楽しく学びます	環境保全課
24	弘前市環境マネジメントシステムについて	環境マネジメントシステムの概要	環境保全課
25	弘前市の広報広聴活動	市の行っている広報と広聴活動	広報広聴課
26	障害者の福祉	障害者の認定と申請 各種制度・サービス	福祉総務課
27	成年後見制度について	制度の概要と市長による審判の申立てなど	福祉総務課
28	保育所のはなし	保育料の決定方法 入所状況	児童家庭課
29	児童の福祉Ⅰ	児童館・児童センターの事業と利用方法 放課後児童会の活動と入会方法	児童家庭課
30	児童の福祉Ⅱ	子ども手当と特別児童扶養手当の受給資格など	児童家庭課
31	児童の福祉Ⅲ	身近にある子育て支援事業と児童の健全育成について	児童家庭課
32	母子等の福祉Ⅰ	児童扶養手当とひとり親家庭等医療費の受給資格など	児童家庭課
33	母子等の福祉Ⅱ	DV（ドメスティックバイオレンス）と児童虐待について	児童家庭課
34	青少年健全育成	非行の現状 非行防止対策 環境浄化対策	少年相談センター
35	介護保険制度のしくみ	介護保険制度の概要	介護保険課
36	国民健康保険制度のしくみ	保険料の決め方 医療給付の内容 国保の届出手続き	国保年金課（国保担当）
37	後期高齢者医療制度のしくみ	制度の概要	国保年金課（国保担当）
38	国民年金制度のしくみ	各種届出 受給資格 保険料の納付方法	国保年金課（国民年金担当）
39	健康づくり講座	内臓脂肪と高血圧、たばこと健康問題、うつ病の予防、認知症を支える正しい理解	健康推進課
40	子育て講座	祖父母のための子育て講座、乳幼児期の子育て講座	健康推進課
41	健康な食生活講座	妊娠の食生活、生活習慣病予防の食生活、高齢者の食生活、親子で見直す食生活、幼児・学童・思春期の食生活	健康推進課
42	予防接種について	予防接種の種類、定期の対象年齢、接種間隔、一般的な注意事項について	健康推進課
43	農業経営者応援講座	認定農業者制度・農業金融制度の概要 農業経営改善計画の作り方	農政課
44	農家の家族経営協定のはなし	家族経営協定とは 協定書の締結まで	農業委員会事務局
45	中小企業のための融資制度	主な融資・助成制度について	商工労政課
46	中心市街地の活性化	中心市街地活性化基本計画の概要と取り組み	商工労政課
47	弘前オフィス・アルカディア	オフィス・アルカディア事業の概要	商工労政課
48	弘前感交劇場	津軽地域全体を一つの劇場ととらえ、観光客と地域住民がともに共感共鳴できる、「感動と交流」の旅のスタイルを展開する、弘前の新たな観光施策	観光物産課
49	弘前市の四大まつり	主なお祭りのいろいろ	観光物産課
50	弘前市の特産品	弘前の特産品いろいろ	観光物産課
51	弘前公園のサクラ	サクラの歴史と管理の工夫について	公園緑地課
52	弘前公園の古木名木	弘前公園にある歴史的な古木名木の紹介	公園緑地課
53	緑化推進について	くらしに役立つ緑の働きと重要性など	公園緑地課
54	弘前市の保存樹木	大切にしたい保存樹木をスライドなどで紹介	公園緑地課
55	弘前城植物園の楽しみ方	植物の種類と花の見ごろ	公園緑地課
56	私道整備の補助制度	制度の概要 事業の進め方 負担割合	土木課
57	くらしの中の雪対策	除排雪の方法、消・流雪溝・雪置き場の利用について	道路維持課
58	地震からわが家を守ろう	木造住宅の耐震診断と耐震改修について	建築指導課
59	都市計画事業について	都市計画道路や都市公園の現状と計画について	都市計画課
60	都市計画とまちづくり	都市計画の仕組みとまちづくりについて	都市計画課
61	弘前市の都市景観	都市景観形成の歩みと取り組み	都市計画課
62	水道とくらし	水が蛇口から出るまで	上下水道部総務課
63	市議会のしくみ	市議会の進め方 市政と市議会の関係	議会事務局
64	弘前市の社会教育	社会教育事業あれこれ 生涯学習と社会教育	生涯学習課
65	はじめよう！ボランティア	ボランティアの楽しみ方と活動あれこれ	生涯学習課
66	公民館は学びの支援隊	公民館で行っている講座の紹介	中央公民館
67	健康体操講座	手軽に出来る健康体操	保健体育課
68	選挙のしくみ	選挙の概要と選挙運動などについて	選挙管理委員会事務局
69	防火の豆知識	火災などに対して身近に知っておきたいこと	消防本部
70	住宅防火対策	住宅用火災警報器などの防災機器の種類、しくみ、取り付け方など、住宅火災から身を守るためにの対策について	消防本部
71	あなたも出来る応急手当	応急手当、救急蘇生法（AEDを含む）、119番への通報要領	消防本部

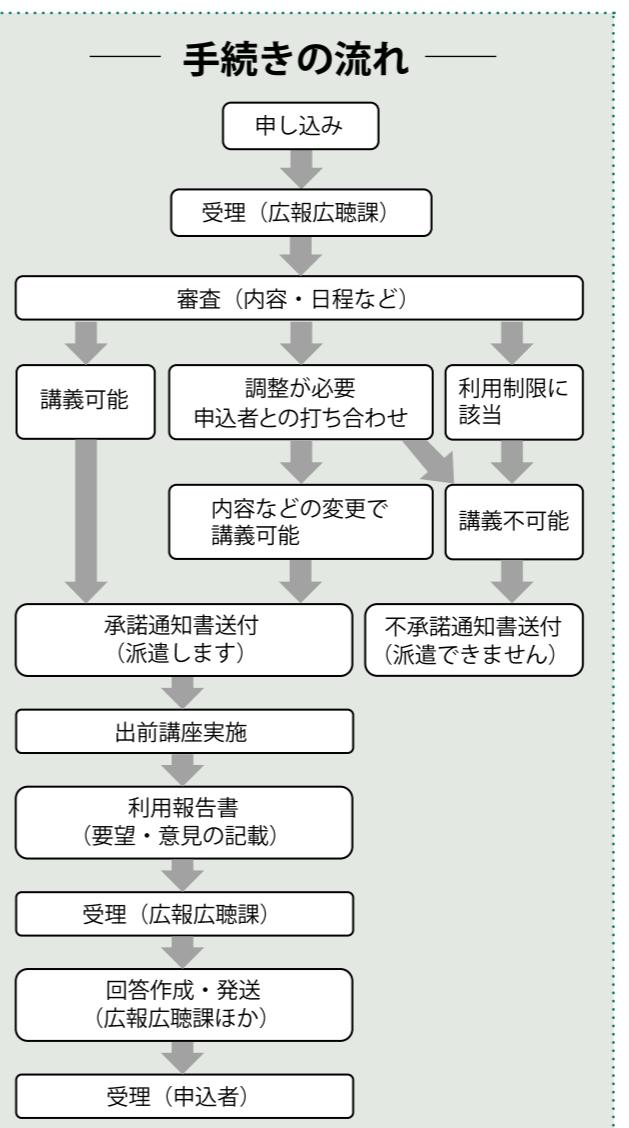
豊富なメニューでお待ちしています

出前講座

市では、市民と行政との協働を目的に「弘前市
出前講座」を実施しています。

より多くの皆さんの意見を市政に反映させるため、下記のとおり実施していますので、どうぞ気軽にご利用ください。

■問い合わせ・申込先 広報広聴課広聴係(〒036-8551、上白銀町1の1、☎ 35・1194、ファクス 35・0080)



■ **出前講座ってなあに?**

市民の皆さんがあなたがメニュー（左ページの一覧表）から選んだ講座について、市が行っている施策や制度などを、市の職員が指定の場所に面向き、分かりやすく説明します。

■ **誰でも利用できるの?**

市内に在住、または通勤・通学する5人以上のグループなら、誰でも利用できます。

ただし、次のような場合は利用できません。

× 公の秩序を乱したり、善良な風俗を阻害する恐れがあるとき

■ **利用日と時間は?**

年末年始（12月29日～1月3日）を除く、午前9時～午後9時の2時間以内です。土・日曜日、祝日も利用できます。

■ **会場の準備などは?**

受講を希望するグループで用意（原則として市内）。

■ **利用料はいくら?**

無料です。ただし、材料などはあらかじめ準備してもらいう場合があります。

■ **申し込み方法は?**

利用申込書に必要事項を記入し、利用予定の1カ月前ま

でに広報広聴課（市役所2階、窓口258）へ。ファクス、郵便での申し込みも受け付けます。※利用申込書は、広報広聴課のほか、岩木・相馬の各庁舎に用意しています。また、市のホームページからもダウンロードできます。

■ご意見をお聞かせください

より多くの市民の皆さんのお意見を市政に反映させるため、講座終了後に利用報告書の提出をお願いしています。

講座のテーマに関する意見や希望などがありましたら記入してください。後日、担当課が文書で回答します。





4月23日～5月12日

こどもの読書週間

～今年は「国民読書年」～

「こどもの読書週間」と4月23日の「子ども読書の日」にちなんだ行事を開催します。詳しくは各図書館へ問い合わせを。

【弘前図書館（下白銀町、☎ 32・3794）】

●絵本と紙芝居の展示・貸し出し

▽期間 4月16日～5月19日の午前9時半～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 弘前図書館児童書コーナー

▽テーマ 「自然」

●乳幼児のためのおはなし会

▽とき 5月8日（土）

午前10時半～11時

▽ところ 弘前図書館おはなしコーナー

▽内容 千葉仁子さんによる乳幼児とお母さんのためのお話、絵本の選び方についてのアドバイス

【岩木図書館（賀田1丁目、☎ 82・1651）】

●本（世界の民話）の展示

▽期間 4月23日～5月12日の午前9時～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 岩木図書館

●青森県の民話の語り聞かせ

▽とき 4月24日、5月1日・8日

午前10時半～11時

▽ところ 岩木図書館

●親子で絵本をつくろう

▽とき 5月5日（水）

午前9時～

▽ところ 岩木図書館

▽定員 10組（先着順）

▽材料費 1組300円



4月23日～5月12日

こどもの読書週間

～今年は「国民読書年」～

「こどもの読書週間」と4月23日の「子ども読書の日」にちなんだ行事を開催します。詳しくは各図書館へ問い合わせを。

【弘前図書館（下白銀町、☎ 32・3794）】

●絵本と紙芝居の展示・貸し出し

▽期間 4月16日～5月19日の午前9時半～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 弘前図書館児童書コーナー

▽テーマ 「自然」

●乳幼児のためのおはなし会

▽とき 5月8日（土）

午前10時半～11時

▽ところ 弘前図書館おはなしコーナー

▽内容 千葉仁子さんによる乳幼児とお母さんのためのお話、絵本の選び方についてのアドバイス

【岩木図書館（賀田1丁目、☎ 82・1651）】

●本（世界の民話）の展示

▽期間 4月23日～5月12日の午前9時～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 岩木図書館

●青森県の民話の語り聞かせ

▽とき 4月24日、5月1日・8日

午前10時半～11時

▽ところ 岩木図書館

●親子で絵本をつくろう

▽とき 5月5日（水）

午前9時～

▽ところ 岩木図書館

▽定員 10組（先着順）

▽材料費 1組300円

緑の相談所
大菊づくり講習会

日本を代表する伝統園芸「大菊づくり」をあなたも楽しんでみませんか。

▽ととき 5月16日～11月14日（月）の月1回、日曜日の午前10時～午後11時（計7回）

▽ところ 緑の相談所（下白銀町）集会室

▽受講料 1,500円（テキスト代、苗代含む）

▽申込期限 5月31日

▽問い合わせ・申込先 緑の相談所（☎ 33・8737）

手話奉仕員養成講座

（基礎課程）

▽対象 3歳児とその親

▽内容 マット運動、跳び箱、ボール運動、平均台など

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 4月20日から、笛森記念体育館（下白銀町、☎ 37・5508）へ。

トレーニング教室

▽対象 5人程度（先着順、学生・生徒を除く）

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 弘前市元寺町（元寺町）市民参画センター（☎ 35・8918）

市民ボランティアによるパソコン講座

▽対象 11時半～12時半（計6回）

▽内容 ストレッチ体操、簡単トレーニング、ユニバーサル、ラケットテニスなどの講座です。

▽受講料 1,500円（テキスト代、苗代含む）

▽申込期限 5月31日

▽問い合わせ・申込先 石町（☎ 36・4521）へ郵送

軽スポーツ

▽対象 女性＝30人

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 4月30日から、市民体育館（八幡町1丁目9の17）へ郵送

講座です。

▽対象 30人

▽内容 パソコンの基本操作、文字入力

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 4月27日、市民体育館（総合学習センター内、☎ 26・4800）

▽問い合わせ・申込先 学習電話での申し込みも受け付けます。

▽対象 30人

▽内容 パソコン初心者のためのパソコン講座

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 4月27日、市民体育館（総合学習センター内、☎ 26・4800）

▽対象 30人

▽内容 パソコン初心者のためのパソコン講座

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 4月27日、市民体育館（総合学習センター内、☎ 26・4800）

【幼稚園体操教室】
【小学生体操教室】

▽対象 4・5歳の児童

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 3歳児とその親

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 小学校1・2年生

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 市民＝15人

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 市民＝20人

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 市民＝15人

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

▽対象 市民＝20人

▽内容 水中体操、泳げるようになる

▽参加料 無料（スポーツ安心保険に加入を）

▽問い合わせ・申込先 5月11日～7月13日

岩木地区の指定区域で 一戸建て住宅の建築が可能になりました

市では、農村部の地域コミュニティの維持や活性化を図るため、岩木地区の市街化調整区域において、一戸建ての住宅に限り、誰でも建築ができるよう、開発許可の要件を緩和する区域を4月1日に指定しました。

また、弘前地区の指定区域についても、一部見直しを行いました。

指定区域での住宅建築には、都市計画法の許可申請が必要となるほか、農地転用など他の法令の手続きが必要となる場合もあります。

指定区域や手続きなど、詳しくはお問い合わせください。

△問い合わせ先 都市計画課開発指導係 (☎ 35・1134)

要件緩和の概要

【現行】

区分	市街化調整区域
建築主	農業者などに限定
住宅の種類	農家住宅などに限定
開発許可等	必 要



【区域指定後】

区分	市街化調整区域
指定区域	その他の区域
建築主	誰でも可能
住宅の種類	一戸建ての住宅
開発許可等	農家住宅などに限定
	必 要

○小栗山農村交流公園	○相馬昂農園
○相馬昂農園	○相馬昂農園

△対象	農家以外の市民
△概要および使用料	○小栗山農村交流公園
△申込方法	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園

△対象	農家以外の市民
△概要および使用料	○小栗山農村交流公園
△申込方法	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園

△対象	農家以外の市民
△概要および使用料	○小栗山農村交流公園
△申込方法	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園
△問い合わせ先	○相馬昂農園

少年少女剣道教室

初心者ウォーキングと 体操教室

△と き 5月17日～6月10日

△と き 毎週月・木曜日、午前10時～11時半

△と き 每週月・木曜日、午前10時～11時半

△と き 每週月

危險物取扱者試験会 事前講習会

※車での来場はできませんので、最寄りの駐車場をご利用ください。

危険物取扱者試験
△と き 6月19日・26日(両日受験可)
▽ところ 弘前東高等学校
(川先4丁目)
△種類 甲種(受験資格有)

△受講料 6000円 (弘前
地区消防防災協会加入事業所
は3000円)
△テキスト代 1400円
(テキストのみの販売も有り)

最低工賃の改正

4月1日から適用されていました。最低工賃は工賃の低い家内労働者の労働条件の改善を図るため、家内労働法に基づき決定されるものです。詳しい改正内容はお問い合わせください。

△受験料 甲種＝5000円
／乙種＝3400円／丙種＝
2700円

△受付期間 5月6日～17日

※本年度からインターネットによる電子申請ができるようになりました。詳しくは消防試験研究センターホームページ（<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>）をご覧ください。なお、従来の願書でも申請できます。願書は、消防本部予防課（本町、☎32・5104）か最寄りの消防署・分署へ。

△と き 5月27日・28日（2日間）の午前9時半～午後4時半

△と う 消防本部3階大会議室

△と き 6月2日・3日、
午前9時半～午後5時（2日
間の受講が必要）

△ところ 岩木文化センター
「あそべーる」（賀田1丁目）
1階ホール

△対 象 消防法で義務付け
られている次の施設で、防火
管理上必要な業務を遂行でき
る管理・監督的な地位にある
人

①30人以上収容する集会所・
店舗・旅館・病院・福祉施設
(小規模社会福祉施設は10人
以上)など
②50人以上収容する共同住
宅・学校・寺院・工場・事務
所など

※①・②以外の希望者も受講できます。

▽受講料 5000円(テキスト代として。弘前地区消防防災協会加入事業所は300円)

▽問い合わせ・申込先 4月26日～5月23日に、消防本部予防課(本町、☎32-5104)または最寄りの消防署・分署へ。

河川愛護モニター募集

国土交通省では、河川愛護思想の啓発や河川情報などの把握を目的としてモニターを募集しています。

▽活動内容 巡視月誌の提出(月1回)、岩木川に関する情

報提供や河川の異常を発見したときの通報、河川関係行事への参加など

▽活動地区 岩木茜橋～清瀬橋区間（岩木川左右岸）

▽任期 7月1日から1年間

▽応募資格 活動地区付近に居住し、河川愛護に関心のある満20歳以上の人

▽募集人数 1人

▽報酬 月額4500円程度

▽問い合わせ・申込先 5月8日（必着）までに、履歴書と「川とのかかわり」について簡単に記述したもの（任意様式）を、国土交通省青森河川国道事務所河川管理課（〒030・0822、青森市中央3

文化グループ会員募集

中央公民館（下白銀町、弘前文化センター内）で活動している文化グループ「尺八グループひびき」では、会員を募集しています。初心者、経験者にかかわらず、気軽に�이ください。

△活動日 毎週水曜日の午後6時半～9時

△ところ 弘前文化センター

△内容 尺八の基本と合奏曲の練習など

△定員 若干名

△会費 月額1000円

△問い合わせ・申込先 中央公民館（☎33・6561）

近年、高齢者虐待をはじめ、
高齢者の処遇などをめぐるさ
よざまな問題が発生していま
す。それらに関する市の相談窓
口が、4月から次のとおり
変更になりました。なお、市
内7カ所の弘前市地域包括支
援センターにおいては従来ど
おり行っています。

△対象	市内在住の小学生
△会費	年額2000円
△申し込み方法	住所・氏名 (ふりがな)・性別・電話番号・ 学校名・学年・保護者氏名を 記入し、4月16日～30日(当 日消印有効)に、はがきかフ ァクス、またはEメールで申 し込みを。
△問い合わせ・申込先	中央 公民館「キッズワールド」係 (〒036・833556、下白銀町 知らせします。

商品販売業を営んでいない18歳以上の人（高校生を除く）で本人が当日販売できること	▽定員 各80組（抽選）
▽参加料 1組1コマ＝300円	▽参加料 1組1コマ＝300円
▽出品条件 電気製品などは正しく作動すること（PSEマークなどの付いているものに限る）／化粧品、医療品、食料品や危険物、保健所の許可が必要なものは除く／くじ引き・福袋などのゲーム性のある販売行為は禁止	▽出品条件 電気製品などは正しく作動すること（PSEマークなどの付いているものに限る）／化粧品、医療品、食料品や危険物、保健所の許可が必要なものは除く／くじ引き・福袋などのゲーム性のある販売行為は禁止
▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、開催月の前月の15日～25日（期間中の消印	▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、開催月の前月の15日～25日（期間中の消印

会員募集

△対象	市内在住の小学生
△会費	年額2000円
△申し込み方法	住所・氏名 (ふりがな)・性別・電話番号・ 学校名・学年・保護者氏名を 記入し、4月16日～30日(当 日消印有効)に、はがきかフ ァクス、またはEメールで申 し込みを。
△問い合わせ・申込先	中央 公民館「キッズワールド」係 (〒036・833556、下白銀町 知らせします。

商品販売業を営んでいない18歳以上の人（高校生を除く）で本人が当日販売できることで、△定員各80組（抽選）△参加料1組1コマ＝300円△出品条件電気製品などは正しく作動すること（PSEマークなどの付いているものに限る）／化粧品、医療品、食料品や危険物、保健所の許可が必要なものは除く／くじ引き・福袋などのゲーム性のある販売行為は禁止

△申し込み方法往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、開催月の前月の15日～25日（期間中の消印

As a result, the *Journal of Clinical Psychology* is the most cited journal in the field of clinical psychology. The journal is also highly regarded by the American Psychological Association (APA) and the National Council of Psychologists (NCP).

弘前市 登録統計調査員制度

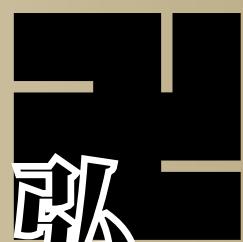
は、各種統計調査における
査員の選任を円滑にするた
めから弘前市登録統計調査
を始めました。これは、統

員として活動してくれる人
はじめ登録しておく制度
月に実施される国勢調査
計法に基づく基幹統計調査
員統計調査員として従事す
募集しています。登録を希
や統計調査に興味がある
問い合わせください。

合わせ先 広報広聴課統計 (10・7016)



弘前市は毎月5日を「りんご」を食べる日」と条例で定めました。
(平成19年4月1日施行)



市立博物館企画展4

「津軽に眠る名宝展」 に関する情報提供のお願い

市立博物館では弘前城築城400年を記念して企画展4「津軽に眠る名宝展」(11月27日～平成23年1月30日)の開催を予定しています。

この企画展の開催に当たり、皆さんの自宅に眠る津軽にちなんだ自慢の名品に関する多数の情報を待ちっています。

【募集内容など】

▽募集する作品 近世から現代におよぶ津軽にちなんだ作品で、特にジャンルは問いません。

▽応募・情報提供の方法

電話、ファクス、またはEメールで市立博物館へ。

▽募集期限 8月31日(火)



津軽にちなんだ自慢のお宝・名品に関する情報を募集します！

▽問い合わせ・応募先 市立博物館(〒036・8356、下白銀町1の6、☎35・0707、Eメール:hakubutsu@hi-it.jp)

弘前城に見守られながら歴史をはぐくんできたわたしたちの郷土を、レトロな街並みに合う着物姿で歩いてみませんか。

▽とき 4月29日(木)

午後1時半～4時

※雨天でも実施します。

▽集合 弘前文化センターホール前広場(下白銀町、津軽

為信像が建っている場所)

▽参加料 無料(弘前公園

有料区域への入園料などは各自負担)

▽無料着付け

一人で着物を着られない

人のために、無料着付けを

実施します。希望者は4月

25日(日)までに、電話か

ファクスで申し込みの上、

当日の正午までに、弘前文

化センター第3和室へ着物

問いません。

▽問い合わせ・応募先 市立博物館(〒036・8356、下白銀町1の6、☎35・0700、ファクス35・0707、Eメール:hakubutsu@hi-it.jp)

一式を持って集合してください。

▽協力・後援団体 協力:NPO法人harappa／後援:東奥日報社、弘前城築城400年祭実行委員会

▽問い合わせ・申込先 財團法人民族衣裳文化普及協会(〒020・0024、盛岡市菜園1の4の10、第2産業会館5階、☎兼ファクス盛岡019・651・3066、フリーダイヤル0120・029・315、当日連絡先:平井さん、携帯090・2792・7205、Eメールinfo@wagokoro.com、ホームページhttp://www.wagokoro.com)

弘前城築城400年祭記念事業

きものでさくらうオーケ



せせらぎの園作品展開催中

せせらぎの園(障害者福祉施設)に入所している障害のある人たちが、社会的な自立を目指して作り上げた、りんごをモチーフにした作品を展示する企画展です。

▽とき 4月19日まで、午前9時～午後5時

▽ところ りんご公園(清水富田字寺沢)「りんごの家」

▽問い合わせ先 りんご公園(☎36・7439)

Population	
人の動き	(前月比)
・人口 182,741人(-162)	
男 83,212人(-91)	
女 99,529人(-71)	
・世帯数 70,720世帯(-37)	
平成22年3月1日現在(推計)	

